

マンハッタン翁2026

原作・脚本：桜井真樹子

富にも幸にも恵まれず、
貧しく孤独な生涯を終えた老いたる人は、
マンハッタンを祝福する天の翁となった。
新年にふさわしい祝祭能です。

出演

桜井真樹子：シテ「翁」

吉松 章：ワキ「花の精」、アイ

山口裕加奈：声明

吉田正子：面箱・地謡

今井尋也：小鼓・能管



桜井真樹子（白拍子・声明）

龍笛を芝祐靖に天台宗大原流声明を中山玄晋に師事。1997年より、白拍子の復元を始め、「鬢多々良（びんたたら）」「水猿曲（みずのえんきょく）」「蓬萊山（ほうらいざん）」「廻惚（かいこつ）」など、20年に渡り公演を続ける。2007年より創作能「マンハッタン翁」「橘の姫」「岸辺の大臣」「沖縄平家物語」などを発表。2019年よりハイパー能「睡蓮」「投石」「菖蒲冠」「長髄彦」「雪の華」「オープンハイマーの息子たち」を発表する。



吉田正子

観世流能楽の謡と舞を習う。独り謡仕舞や朗読仕舞、琵琶とのコラボ、創作仕舞など能の謡舞をいろいろな形で展開。能楽や和歌を主題として歌曲を創作し、声楽デュオ・ピアノ・謡舞の編成で「花月標」として活動中。朗読ユニット「ANAM-TAKUS」ではピアノ演奏と作曲編曲を担当。創作能「マンハッタン翁」「橘の姫」「刀塚」に出演。桜井真樹子氏に白拍子・声明・龍笛を師事。



吉松章（謡・舞・俳優）

舞台俳優として活動中、喜多流の謡と舞を習う。能楽の謡や舞を現代的に解釈し、ソロ作品化。「マッチ売りの少女」「浦嶋太郎」等がある。シルクロード能楽会では地謡と後見を、音楽詩劇研究所では、東京、ロシア、アルメニア、カザフスタン、韓国にて、謡と舞を使ったパフォーマンスで参加。

<https://musicpoeticdrama.com/home.html>



今井尋也 Imai Jinya（脚本家、演出家、能役者、小鼓演奏家）

2021年日本演出者協会優秀演出家賞受賞。シルクロード能楽会代表。武蔵野美術大学非常勤講師。幼少から祖父に能楽を学び、十代で初舞台。国立能楽堂研修生・東京芸術大学音楽学部卒業後、渡仏し、現代演劇やコンテンポラリーダンスを修める。シルクロード能楽会を含む広範な活動で脚本・演出として才能を発揮、能楽の演出で斬新な舞台が多く、評論家から称賛されている。アウトリーチ活動にも熱心に参加し、国内外で古典からジャズ、現代音楽まで幅広いジャンルでフリーの小鼓演奏家として活躍している。



山口裕加奈（芸名：山口 明裕賀）

幼少の頃よりピアノと山田流箏曲を学ぶ。東京藝術大学大学院（音楽学専攻）を経て、同大学院音楽教育研究室研究生修了。現在、東京藝術大学音楽学部音楽総合研究センター教育研究助手。山梨大学教育学部、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師。大学生の時に合唱をはじめ、女声アンサンブルレガーロ東京にて活動。天台声明と平安歌謡を桜井真樹子に、能を今井基に師事。

主催：桜樹座

ご予約・お問い合わせ
まきこの会事務局

makikoclub2022@gmail.com



Google MAP